

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 報告数は10件（前月比-、前年同月比-）でした。熊本、八代、宇城からの報告です。コロナ禍の2年間、流行はみられませんでした。今夏の南半球ではコロナ流行前に近い水準の3季ぶりのインフルエンザ流行を認めましたので、今後の発生動向に注意が必要です。

小児科定点

（全体傾向）

報告数1,931件（前月比1.18、前年同月比0.63）で、前月よりも若干増加しました。感染性胃腸炎とRSウイルス感染症の増加が主な要因です。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症： 報告数174件（前月比1.3、前年同月比1.5）でした。春から夏は少数でしたが、9月からは微増傾向が続いています。菊池（7.40）と熊本（6.69）からの報告が多いようです。
2. 咽頭結膜熱： 報告数29件（前月比1.3、前年同月比1.5）でした。7月にピークを迎えたあとは減少し、大きな変動なく推移しています。八代（1.25）からの報告が多いようです。
3. A群溶連菌咽頭炎： 報告数80件（前月比1.1、前年同月比1.7）でした。前年比は上昇しましたが、例年よりも低水準で推移しています。御船（19.67）からの報告が多いようです。1歳未満を除く幅広い年齢層に分布しています。
4. 感染性胃腸炎： 報告数836件（前月比1.2、前年同月比0.6）でした。前年比は低下していますが、例年年末年始に増加しますので、今後の発生動向に注視が必要です。有明（42.20）、菊池（38.00）からの報告が目立ちます。1～2歳を中心に全年齢層から報告されています。
5. 水痘： 報告数57件（前月比2.0、前年同月比3.6）でした。2020年5月から低い値で推移していましたが、前月からは連続して増加し、2年半ぶりの水準に達しました。菊池（6.60）からの報告が多いようです。
6. 手足口病： 報告数321件（前月比1.0、前年同月比0.3）でした。前年比は大きく低下したまま昨年同様9月にピークを迎え、いまだ小さな流行が続いています。菊池（18.20）、有明（11.20）、山鹿（10.50）からの報告が多いようです。
7. 伝染性紅斑： 報告数3件（前月比1.0、前年同月比1.0）でした。2020年5月から低い水準が続いています。菊池と熊本からの報告でした。
8. 突発性発疹： 報告99件（前月比1.0、前年同月比0.7）でした。コロナ流行下でも大きな変化は無く、例年と同様に推移しています。菊池（7.00）からの報告が多いようです。
9. ヘルパンギーナ： 報告数145件（前月比1.1、前年同月比0.6）でした。昨年と同様に夏の流行はみられず、9月から3桁の報告が続いています。菊池（10.80）からの報告が多いようです。0～1歳の報告が半数近くを占めています。
10. 流行性耳下腺炎： 報告数5件（前月比5.0、前年同月比0.5）でした。少数報告が続いています。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数 13 件で前月比 1.6 と増加していますが、前年同月とは変わりありません。熊本 12 件、菊池 1 件の報告です。年齢別では 30～49 歳にピークがありますが、乳幼児、低年齢層での報告はありません。

STD 定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：
報告数 75 件（前月比 1.2、前年同月比 1.4）でした。男女別は、男性 47 件、女性 28 件でした。年齢別では、男女とも 20 代をピークに男性は 10 代後半から 60 代まで、女性は 10 代後半から 40 代に認めました。地区別は、熊本市 59 件、次いで有明で男女各 4 件、御船で 3 件、菊池、八代で 2 件、宇城で 1 件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：
報告数 19 件（前月比 0.9、前年同月比 0.7）でした。男女別は、男性 12 件、女性 7 件でした。年齢別では、男性は 20 代から 60 代まで、女性は 10 代から 40 代までに認めました。地区別は、熊本で 8 件、宇城で 5 件全例男性、以下女性のみ八代で 3 件、御船で 2 件、菊池で 1 件でした。
3. 尖圭コンジローマ：
報告数は 12 件（前月比 2.0、前年同月比 2.4）でした。男性 11 例、女性 1 例でした。年齢別では、男性では 20 代から 30 代、60 代後半から 70 代以上まで、女性は 40 代前半に認めました。地区別は、熊本市 11 件、内 1 例が女性、宇城が 1 件でした。
4. 淋菌感染症：
報告数は 23 件（前月比 1.0、前年同月比 0.8）でした。男女別は、男性 20 件、女性 3 件でした。年齢別では男性では 30 代をピークに 20 代から 50 代まで認めました。女性は 10 代後半と 20 代後半に認めました。地区別は、熊本 19 件、有明が 4 件でした。

基幹定点

（月報分）

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：
16 件（前月比 1.1、前年同月比 0.7）、定点当たり件数は阿蘇 4.0、山鹿 3.0 と多くなっています。乳児例はなしです。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：
5 件（前月比 2.5、前年同月比 2.5）、1-4 才が 2 件です。定点当たり件数は有明 2.0 と多くなっています。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：
3 件（前月比 3.0、前年同月比 -）、定点当たり件数は山鹿 2.0 で多めの発生です。注意が必要です。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 2件（前月比2.0、前年同月比-）、熊本市からの報告です。
2. 無菌性髄膜炎： 4件（前月比2.0、前年同月比-）、熊本市からの報告です。
3. マイコプラズマ肺炎： 0件（前月比-、前年同月比-）
4. クラミジア肺炎： 0件（前月比-、前年同月比-）
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：
0件（前月比-、前年同月比-）

届け出対象感染症

1類感染症：報告はありませんでした。	
2類感染症：結核	12件
3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症	6件
4類感染症：つつが虫病	4件
日本紅斑熱	2件
5類感染症：ウイルス性肝炎	1件
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2件
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
侵襲性肺炎球菌感染症	1件
梅毒	16件
新型インフルエンザ等感染症：	
新型コロナウイルス感染症	21,969件